はじめに

今月は季節の移り変わりで、平均気温が約10°となり一気に寒くなりました。中旬には霙も降り、秋を通り越して冬になってしまったのではないかとクラスメイトと話し合いました。そのため長期にわたり体調を崩してしまい、クラスを休むこととなり悔しい思いをしました。そして初めてのExamも無事終わりました。しかし問題文の理解に時間を割いてしまい、問題を解くというよりも翻訳のテストのようになってしまいました。また今月は大きなイベントとしてハロウィンがあるため、大学構内のいたるところにデコレーションがされています。私は、来月に迫るボストンキャリアフォーラムの準備で忙しいため参加できないのが残念ですが、デコレーションを見るだけでも楽しめています。



Caféの入り口にて

ESL111: Intro to Academic Writing

現在このクラスの宿題が一番難しく時間を割いています。なぜなら一週間ごとにエッセイを一本書きあげているからです。先月までは最初の章だったため時間をかけて学んでいましたが、今月からは一気にレベルとスピードが上がりました。特にこの章では、理論的・倫理的・情熱的の三つを使ってエッセイを書かなければいけないので、日本語で書いても難しいと思います。データを集めて考察する理論的な書き方はそこまで日本と変わらないのですが、論理的・情熱的の二つは日本の考え方とは違い、なぜその意見なのかと何度も先生に聞かれます。また宿題の一つとして、クラスメイトが書いたエッセイを読んで評価しています。他人のエッセイの理解と自分の意見をまとめる必要があるので、こちら苦戦しています。やはり何度も読み書きする反復練習が、最も効率の良い英語の勉強方法なのだと痛感しています。

ASTR0100: Introduction to Astronomy

このクラスのExam は四つの選択肢から選ぶ選択式で、それぞれの惑星やその衛星まで問題として 出題されたため、難しかったです。テストの範囲は主に太陽系の惑星とその衛星についてで、先月 観測した金星や土星の問題が多かった気がします。今月も新たに天体観測を行い金星と月、さらに は 26,100 光年離れた M30 星団を見ることができました。 M30 は大学にある天文台の、長さ 4.5 [m] の望遠鏡を使い観測しました。天文台の周りは天体観測の邪魔になるため明かりがほとんどなく、みんなスマートフォンのライトを使用してノートを取っていました。

EALC250: Intro to Japanese Culture

このクラスでも Exam は四つの選択肢から選ぶ選択式でしたが、トリッキーな問題が多かったです。テスト範囲は日本神話の時代から日本の明治維新までと範囲が広く、また聞いてくる問題の内容も難しかったため、問題文の翻訳がテストのメインになってしまいました。クラスの内容がだいぶ現代日本になってきましたが、日本の文化紹介のビデオとして高校野球のダイジェストや水商売(ホステス)のダイジェストを見させられ、なぜ先生はこれを選択したのだろうと悩んでいます。またビデオを見ていると、自分とクラスメイトの笑いのツボが違うことに気づかされました。私が感動している場面で彼らは笑っていたりするので、まだまだ彼らは日本文化を理解していないなと思いながらビデオを見ています。

MSE280 : Engineering Materials

このクラスのExam は材料についての説明、材料の分子構造の説明や計算問題でした。Exam には1枚のペーパーを持ち込み可能だったので、Exam の前に行われた対策問題の計算式を書き込んで挑みました。しかしExam の8割近くの回答が文章による説明を求められたため、このテストの成績が一番悪かったです。Exam をしていて文章の読解力が上がったのを感じましたが、まだまだ自分の意見を英語で伝えることができないことも感じました。

今月は急な気温の変化で長期にわたって体調を崩してしまいました。現在は体調も回復し、準備の遅れてしまったボストンキャリアフォーラムと授業を取り戻すため努力しています。そこでもっとも役立っているのが、授業で使用したパワーポイントがインターネットを通じてダウンロードできることです。わざわざクラスメイトに聞かずとも、簡単に授業の復習ができるのはありがたいです。またこれからどんどん寒くなっていくと予想されますが、体調管理には気をつけたいと思っています。

以上で今月分の報告を終わります。